

対象学年	2 学年	科目名	キャリア教育講座Ⅳ	担当名	佐藤 はるか
対象学期	後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	自ら考え行動し、協働できる人材を目指し、社会人基礎を養う。 ビジネスに必要なマインド、スキルを習得していく。
学習内容	JESC認定の教員カウンセラー資格を持つチューターや、業界に精通するキャリアセンター長から、職業人として求められる社会人基礎力と考える力、マネジメント力を高めることを目指して、講義を行う。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する  評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格)  ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	1組9/29 2組10/6 キャリア教育講座の内容を理解する ・後期の目標設定 ビジネススキルの習得 ～ビジネス用語、言葉遣い～		
2			
3	1組10/13 2組10/20 ビジネスマインドの習得 ～なんのために働くのか～ 防犯スキル講習	動きやすい服装	
4			
5	1組10/27 2組11/3 ビジネススキルの習得 ～マネジメントとは～ ・チームマネジメントについて ・成果を出すマネジメントについて		
6			
7	1組11/10 2組11/17 ビジネススキルの習得 ～企画立案について学ぶ～ ・失敗しない「企画書」とは？ ・企画書制作の手順、作成、実践	PC持参	
8			
9	1組11/24 2組12/1 余吾先生スペシャル授業 業界のこれからと、求められる力 社会に巣立つ皆さんへ		
10			
11	1組12/8 2組1/12 2年間の振り返り ・企画実行の準備		
12			
13	1組1/19 2組1/26 企画の実行 ・企画実践と評価		
14			
15	定期試験 2/2	定期試験	

対象学年	2 学年	科目名	オリジナルプランニング	担当名	和田 翔太郎
対象学期(Q)	後 期				

到達目標	新郎新婦に合わせたオリジナルプランニングを提案するための、基礎知識・感性・調査力・想像力・プレゼン力・チームワークを磨く過程で、ウェディングプランナーとしての心構えや、自ら問題提起をして解決へ導く自主性を確立する
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て「本当に喜ばれるウェディングとは何か」への理解を深める講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	小テスト・課題点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・タイプ診断 自分自身について知る	筆記用具、配布資料	なし
2	コンセプトメイク・ハイライトを想像する 相手に伝える	筆記用具、配布資料	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
3	コンセプト発表① 仮想テーマを決めてより実践的なコンセプトメイク	筆記用具、配布資料	前回授業の理解・復習
4	コンセプト発表② 式場ハード面のオリジナリティ	筆記用具、配布資料	前回授業の理解・復習
5	式場ハード面のオリジナリティの研究 発表準備	筆記用具、配布資料	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
6	式場ハード面のオリジナリティの研究発表 試験説明	筆記用具、配布資料	前回授業の理解・復習
7	新郎新婦に合わせたオリジナリティと配慮 マタニティ・少人数・LGBTQ etc	筆記用具、配布資料	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
8	定期試験	筆記用具、配布資料	全授業の復習

対象学年	2 学年	科目名	ブライダル国家検定Ⅱ	担当名	山岸 智恵子
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	ブライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を理解、習得し【3級ブライダルコーディネーター技能検定試験】に合格する
学習内容	日本並びに海外で数々のウェディングプランニング及び「コーディネーター」の経験を持ち、学校教育経験のある教員が、ブライダル業界唯一の国家検定資格である【ブライダルコーディネーター技能検定試験】を合格に導き、一人ひとりがブライダル業界での地位向上を目指すための講義を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ブライダルコーディネーターとして必要な知識、実践的な能力を身につけるためのベースである「テキスト」と、知識確認のための「WORK BOOK」を持参すること

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	X-5ブライダル基本知識/料理・飲み物、トータルコーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP300～305読む
2	X-5ブライダル基本知識/衣装(洋装・和装・格式等々)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP308～325読む
3	X-6ブライダル基本知識/ヘアメイク・フラワーアイテム、会場コーディネーターの考え方	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP326～340読む
4	X-7ブライダル基本知識/ペーパーアイテム、引出物、引菓子、音響照明、司会、写真、映像、記念アイテム	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパートP341～353読む
5	模擬試験①/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
6	ABC検定過去問題/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
7	模擬試験②/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
8	ABC検定過去問題/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
9	模擬試験③/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
10	ABC検定過去問題/解説、実技試験対策	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック見直し
11	模擬試験④/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック、過去問見直し
12	模擬試験⑤/解説	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック、過去問見直し
13	模擬試験⑥/解説、国家検定直前対策(実技含む)	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、ワークブック、過去問見直し
	国家検定試験		
14	定期試験対策/テキスト振り返り	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	エキスパート復習、過去問見直し
15	定期試験	ブライダルコーディネーターテキストエキスパート	

対象学年	2 学年	科目名	ドレススタイリスト演習Ⅲ	担当名	福島圭子・坂田依智子
対象学期(Q)	後 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	プロフェッショナルとして、和装洋装の両方におけるあらゆるウエディングファッションシーンをトータルにコーディネートすることができ、多様な要望に応えられる。
学習内容	ドレスブランドマシェリにて、500組以上の婚礼にウエディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウエディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウエディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣裳業務に携わってきた教員が、現場での経験をもとにトータルコーディネート並びに接客の指導をする
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格)
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手を持参すること

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	前期テストのフィードバックとこれまでの成果等確認 ドレスのサイズの見方(ドレスフィッティング)	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション	授業内容に応じて自宅学習
2	ジュエリー	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション	授業内容に応じて自宅学習
3	色彩心理	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション	授業内容に応じて自宅学習
4	和装 留袖フィッティング	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション	授業内容に応じて自宅学習
5	和装 留袖フィッティング	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション	授業内容に応じて自宅学習
6	設定したファッションシーンのトータルコーディネート1(WD/CD メンズ)	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
7	設定したファッションシーンのトータルコーディネート1(WD/CD メンズ)	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
8	衣装ビジネスの流れについて	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション	授業内容に応じて自宅学習
9	設定したファッションシーンのトータルコーディネート2(WD/CD メンズ～挙式 色直し)	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
10	設定したファッションシーンのトータルコーディネート2(WD/CD メンズ～挙式 色直し)	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
11	設定したファッションシーンのトータルコーディネート3(WD/CD メンズ～挙式 色直し)スライド作成	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
12	設定したファッションシーンのトータルコーディネート3(WD/CD メンズ～挙式 色直し)スライド作成	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
13	設定したファッションシーンのトータルコーディネート3(WD/CD メンズ～挙式 色直し)スライド作成	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	ネット等でウエディング ファッションシーンのチェック
14	総復習	[テキスト] JWSA ウエディング ファッション ネット	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		定期試験事前学習

対象学年	2 学年	科目名	花嫁着付(紋服・白無垢)	担当名	岡野 暢子
対象学期(Q)	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	和装婚礼式服の基本着付 1.婚礼衣装、小物類のあつかい方を覚える 2.花婿式服の着付を覚える 2.花嫁式服の着付を覚える
学習内容	和装の知識・技術を長年経験した山野流着装 師範講師が講義をする 和装婚礼式服の基礎知識をわかりやすく解説し伝統を継承しながらも現代のニーズに応えられる婚礼着付を講義する
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する  評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格)  ※定期試験は実技試験 での評価とする
履修に当たっての留意点	遅刻・欠席は認めない キャミソール(タンクトップは不可)・レギンス(薄手のもの)を着用する 髪は襟足にかからないようまとめて上にあげること

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	和装花婿の紋服の基本着付の知識を覚える	花婿着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
2	和装花嫁の基本着付 綿花・タオルを用いた体型補正から長襦袢の伊達巻まで覚える	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
3	和装花嫁の基本着付 長襦袢の着付から掛下の着付(伊達巻)までを覚える	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
4	和装花嫁の基本着付 長襦袢の着付→掛下の着付→掛下文庫結びの手順を覚える	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
5	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫→抱え帯・筥迫・懐剣→打掛の型づけまでを覚える	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
6	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫→抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→裃どりまでを覚える	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
7	和装花嫁の基本着付 体型づくりから掛下文庫→抱え帯・筥迫・懐剣→打掛→型づけまで仕上げる	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
8	定期試験 3人一組で花嫁の体型づくりから掛下→掛下文庫結び→打掛→型づけまでを仕上げる	花嫁着付テキスト・足袋・肌襦袢 裾除け・タオル(白)3枚・クリップ	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

対象学年	2 学年	科目名	アートディレクション	担当名	松浦麻子
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	テーマと材料を手掛かりにイメージ・デザイン・アウトプット・制作をする。アイデア・考察の幅を広げ、この先の知恵にするための美しい記録を作成する。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、ウエディング・ブライダル業界フローリストとしての発想の方法と多様な材料の活用を教える。伝えるための多角的なアウトプットと、具現化する力を培う講義を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A － 4.0 90点～100点 B － 3.0 80点～89点 C － 2.0 70点～79点 D － 1.0 60点～69点 E － 出席不良 F － 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/1～7回目まで筆記用具・色鉛筆・クロッキー帖持参/授業により水揚げ作業あり

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業オリエンテーション ロープワークで作る装飾的構造物	筆記用具・色鉛筆・クロッキー帳	なし
2	厚紙・植物を使う吊り下げ装飾	筆記用具・色鉛筆・あればカッター・グルーガン・クロッキー帳	次回制作のための情報収集と分析を各自出来る範囲でしておく
3	家具(もしくは道具・花器)と植物を使う装飾	筆記用具・色鉛筆・アーティフィシャルカッター・グルーガン・クロッキー帳・持帰り袋	なし
4	モチーフを作る(スケッチ作品もしくは立体化した作品)	筆記用具・色鉛筆・グルーガン・クロッキー帳・必要あればハサミ等工具・軍手	なし
5	長い素材の作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・色鉛筆・グルーガン・クロッキー帳・必要あればハサミ等工具・軍手	次回制作のための情報収集と分析を各自出来る範囲でしておく
6	紙を使う作品(アレンジメントもしくは花束)	筆記用具・色鉛筆・グルーガン・クロッキー帳・必要あればハサミ等工具・軍手	次回制作のための情報収集と分析を各自出来る範囲でしておく
7	アレンジメントまたは花束 テーマ「鳥の巣」	筆記用具・色鉛筆・クロッキー帳・必要あればハサミ・グルーガン等工具・軍手など	なし
8	実技試験	7回目授業内で各自必要と判断し、チェックを受けた道工具	なし
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

対象学年	2 学年	科目名	フラワーアレンジメントアドバンスⅡ	担当名	速水 晃
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	和装の新郎新婦へのフラワーアレンジを提案できる
学習内容	和婚会場のフラワーアレンジメント、和装の新婦のブーケ&ヘアードの特徴を理解し、提案方法を習得する。また、婚礼と葬祭の花材違いを理解する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎回の授業の持ち物を確認して、忘れずに持参して授業に臨むこと。

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	和婚装花企画・デザイン	ノート・ペン	
2	贈呈用花束制作(ワンサイド)	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
3	ゲストテーブル制作(ラウンド)	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
4	ゲストテーブル(植生的)	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
5	ヘアード制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
6	ラウンドブーケ制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
7	クラッチブーケ制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
8	メインテーブル制作	ノート・ペン	
9	葬儀装花企画・デザイン	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
10	焼香/受付 アレンジ制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
11	壇花制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
12	枕花制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
13	籠花制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
14	花祭壇菊ライン制作	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	
15	定期試験	フラワー道具一式・ノート・ペン・持ち帰り袋	

対象学科	ウェディング科 ウェディングプランナー科 (いずれかを削除)																									
対象学年	2 学年	科目名	ムービー作成演習	担当名	森岡																					
対象学期	後 期			講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	単位 時間																				
到達目標	映像の基礎知識、撮影・編集技術を学び 婚礼を中心とした現場で即戦力として活躍出来る人材の育成																									
学習内容	ウェディングの映像を基本とし、その他企業案件等にも対応出来る知識・技術の習得																									
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>GPA</td> <td>合計点数</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>4.0</td> <td>90点~100点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3.0</td> <td>80点~89点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>2.0</td> <td>70点~79点</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>1.0</td> <td>60点~69点</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>出席不良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>0.0</td> <td>59点以下 (不合格)</td> </tr> </table> ※定期試験は筆記試験とする					評価	GPA	合計点数	A	4.0	90点~100点	B	3.0	80点~89点	C	2.0	70点~79点	D	1.0	60点~69点	E	出席不良		F	0.0	59点以下 (不合格)
評価	GPA	合計点数																								
A	4.0	90点~100点																								
B	3.0	80点~89点																								
C	2.0	70点~79点																								
D	1.0	60点~69点																								
E	出席不良																									
F	0.0	59点以下 (不合格)																								
履修に当たっての留意点	ノート・筆記用具・スマートフォン・カメラ・編集用PCを持参すること。																									

#### 授業回数別教育内容

回数	授業内容 (予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	現代における映像の役割について	筆記用具	
2	動画制作のウェディング映像の基礎知識について	筆記用具	
3	実習：動画撮影の基礎①	・カメラ ・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
4	実習：動画撮影の基礎②	・カメラ ・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
5	実習：動画編集の基礎①	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
6	実習：動画編集の基礎②	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
7	実習：動画編集の応用①	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
8	実習：動画編集の応用②	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
9	実習：動画編集の応用③	・カメラ ・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
10	実習：動画撮影の応用	・カメラ ・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
11	ハウスウェディング映像振り返り	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
12	ハウスウェディングダイジェスト編集	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
13	ハウスウェディングダイジェスト編集	・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
14	復習(これまでの学習で理解が足りない部分を補う)	・カメラ ・パソコンmac(1人1台) ・データ保存外付け	
15	定期試験	映像作品提出・論評	



対象学年	2 学年	科目名	広告・アルバム作成演習II	担当名	近藤		
対象学期	後期 前半		講義	演習・実技・実習	単位/時間数	2単位	30

到達目標	デザイン、広告制作を実践的に学ぶことにより、現場での対応力を身につける
学習内容	ウェディングフォトのベテラン講師が、広告制作の技術、デザインについて講義する。
成績評価の方法と基準	出席点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	Macおよび撮影画像データを忘れずに持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	担当	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション 良いデザインとは	近藤	Mac	
2	Photoshop, Illustratorの高度な使い方	近藤	Mac	
3	高度なデザイン概論	近藤	Mac	
4	広告作成実習 I	近藤	Mac	
5	広告作成実習 II	近藤	Mac	
6	広告作成実習 III	近藤	Mac	
7	講評・まとめ	近藤	Mac	
8	定期試験			

対象学年	2 学年	科目名	ハウスウェディング運営プログラム Ⅲ	担当名	中村・長谷川・福島・天野・内垣
対象学期	後 期	講義	演習・実技・実習	単位 時間数	8単位 120 時間

到達目標	結婚式の企画、運営をすることにより、ブライダルへの理解を深め、実際の結婚式の施行を経験し、将来の仕事の理解と仕事の醍醐味を知ることにより、自ら考え、行動できる力と継続して働く力を身につける。
学習内容	ブライダル業界の最前線で活躍してきたウェディングプランナー、ドレススタイリスト、フラワーデザイナー、フォトグラファーが実務と施工の指導を行う。また実際の現場のスペシャリストを招いての特別講義など、業界即戦力となるスキルを身につけることを目指す。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+個人課題60点の合計点数100点にて成績を算出する。 評価は、S・Uで行う。
履修に当たっての留意点	授業やハウスウェディングの運営、会場使用、備品使用等のルールはすべてHW運営マニュアルに記載のとおりとする。お打ち合わせ業務に参加した日はすべて日報を記録すること。

授業回数別教育内容

回数	1限	2限	3限	4限
1	全体振り返り	専攻ごと振り返り	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。	備品確認
2	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			目標シート振り返り 12月施工の進捗共有
3	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			工程表づくり
4	専攻毎に分かれて婚礼実務を学ぶ。			工程表づくり
5	立ち位置確認 Rubanメイン、Beatサポート、Polarisお客様役 FL専攻：打ち合わせロープレ		専攻ごと：立ち位置確認後の全体振り返り 3限：Ruban 音響レッスン、司会レッスン	チームごと：進行に沿った連携確認
6	立ち位置確認 Beatメイン、Polarisサポート、Rubanお客様役 FL専攻：デザイン確認、花材だし、資材確認		専攻ごと：立ち位置確認後の全体振り返り 3限：Beat 音響レッスン、司会レッスン	チームごと：進行に沿った連携確認
7	Ruban通しオペレーション① DR専攻：アテンド通しレッスン FL専攻：デザイン確認、花材だし、資材確認(当日動きのある学生はオペレーションに参加)			
8	Beat通しオペレーション① DR専攻：アテンド通しレッスン FL専攻：ウェディング現場で起こるトラブルについて(当日動きのある学生はオペレーションに参加)			
9	専攻ごと：通しオペレーションの振り返り FL専攻：全館装飾。花材発注作業。			
10	Ruban通しオペレーション② FL専攻：花材発注作業(当日動きのある学生はオペレーションに参加)			
11	Beat通しオペレーション② FL専攻：前日、当日の動き確認。事前準備。(当日動きのある学生はオペレーションに参加)			
12	全体振り返り (2限：専攻ごと振り返り)		専攻ごと振り返り FL専攻：備品整理 PH専攻：1-3限 編集&アルバム作り	プレゼンテーション発表会準備
13	プレゼンテーション発表会準備 PH専攻：1-3限 編集&アルバム作り 4限 HW成果報告発表会準備			
14	プレゼンテーション発表会準備 PH専攻：1-3限 編集&アルバム作り 4限 HW成果報告発表会準備			
15	プレゼンテーション発表会準備 PH専攻：アルバム作成最終調整枠			
【全専攻】HW成果報告 発表会本番				